



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月5日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <https://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3403

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	134,740	4.9	13,081	23.7	13,249	27.3	9,632	32.2
2023年3月期第3四半期	141,626	3.1	10,578	1.9	10,404	2.7	7,285	1.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 13,632百万円 (35.9%) 2023年3月期第3四半期 10,029百万円 (25.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	98.04	
2023年3月期第3四半期	74.20	

1株当たり四半期純利益は、株式給付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	126,023	78,672	61.4
2023年3月期	102,195	68,301	65.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 77,363百万円 2023年3月期 67,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		33.00	33.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				57.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、2024年2月5日に公表いたしました「配当予想の修正(増配及び記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。
2024年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当37円00銭 記念配当20円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	3.2	16,700	16.6	16,900	21.3	11,900	23.9	121.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、2024年2月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	101,774,700 株	2023年3月期	101,774,700 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,515,671 株	2023年3月期	3,515,671 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	98,259,029 株	2023年3月期3Q	98,188,681 株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式が、2023年3月期546,100株、2024年3月期3Q546,100株含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式が、2023年3月期3Q354,630株、2024年3月期3Q546,100株含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnet及び当社ホームページに同時に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結経営成績の概要>

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却による成長期待が高まる中、景気全般は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、急速な円安傾向の継続や物価上昇に伴う生活コストの上昇等が足元及び今後の経済情勢の見通しの不透明感を引き続き高めており、予断を許さない状況が継続しております。また、海外においても、インフレ傾向が一時期よりは落ち着いてきているものの、引き続き軟調な経済活動が継続しており、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東における地政学リスクの高まりもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属するパソコン市場は、円安傾向の継続等に伴うパソコン製造に係る原材料・部材価格の高止まりの影響が続く中、コロナ禍における一時的かつ大幅な需要増に対する反動減や、各種生活コストの増加を受けて、軟調なユーザー需要が継続したことで、前年同期比で出荷金額は0.8%増加するも、出荷台数は4.7%の減少となり、総じて軟調な傾向が継続しております。

また、当社グループが事業展開を行う欧州各国及び東南アジア各国においては、ロシア・ウクライナ問題の長期化や根強い物価上昇圧力の継続に伴い、先行き不透明感から現地企業による設備投資や個人が消費を控える動きが続いており、前年度と同様に予断を許さない状況が継続しております。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は134,740百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は13,081百万円（同23.7%増）、経常利益は13,249百万円（同27.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,632百万円（同32.2%増）となり、売上高は減収となったものの各利益は増益となり、過去最高を更新いたしました。

前述の通り、ユーザー需要及び調達環境における厳しい状況が継続しているため、前年下半期に引き続き、売上確保よりも利益重視のスタンスを強化してまいりました。その結果、売上高は前年同期比減収ではあるものの、海外パソコン関連事業が前年同期比で大幅な営業増益となり、当社グループ全体の業績を牽引し、営業利益は第3四半期連結累計期間としての過去最高を更新しております。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

① パソコン関連事業

一般用途向けの普及モデルパソコン、高付加価値・特化型製品であるクリエイター向けパソコンやゲーミングパソコン等のBT0（受注生産）パソコン及び完成品パソコンの製造・販売、並びに「iiyama」ブランドによる汎用、デジタルサイネージ、タッチパネルの欧州におけるモニタ販売を中心に、コロナ禍以降において変化しつつあるマーケットニーズを的確に汲み取り、新製品・新サービスの投入を行うことで、積極的に事業を展開してまいりました。

国内パソコン関連事業におきましては、円安による困難な調達環境が継続するとともに、過去数年にわたり市場全体の出荷台数がマイナス傾向で推移する中、販売台数や売上の向上よりも利益率及び利益の確保を重視し、特に需要の高い製品セグメントに注力した製品展開や迅速な価格改定及び営業施策、Web広告等の広告宣伝活動を展開した結果、売上高及び各利益については前年同期比で減収減益ではあるものの、底堅い業績にて推移しております。

海外パソコン関連事業におきましては、欧州及び東南アジアにおける事業環境は引き続き不透明な状況が継続しているものの、現地におけるニーズに迅速に対応した製品・サービス投入等を行った結果、欧州モニタ事業、東南アジア事業ともに前年同期比で大幅な営業増益となる等、期初予想も大幅に上回り順調に推移しております。

以上の結果、当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は130,520百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は12,808百万円（同20.9%増）となりました。

② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営や「MIRA fitness」ブランドによる24時間フィットネスジムの運営等を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限解除が通常化する一方で、各種生活コスト上昇の影響が個人消費に影響を及ぼしておりますが、コロナ禍において実施した各種コストカット施策等の構造改革の効果や、積極的な営業施策の結果、主力事業である複合カフェ事業が引き続き営業黒字を確保するとともに、24時間フィットネス事業も引き続き堅調に推移したことから、当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は4,240百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は461百万円（同181.0%増）となる等、第2四半期連結累計期間に引き続き順調に業績回復しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は126,023百万円となり、前連結会計年度末と比べて23,827百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金や棚卸資産が増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は47,351百万円となり、前連結会計年度末と比べて13,457百万円の増加となりました。これは主に、契約負債が減少したものの、買掛金等の営業債務や短期借入金及び長期借入金が増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は78,672百万円となり、前連結会計年度末と比べて10,370百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、予想される市場動向や営業の状況、パソコン製造に係る原材料・部材調達に係る不透明感等の影響を加味して、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想数値に対し、売上高は未達成ではあるものの、各利益においては、前述の通りグループを挙げて利益率重視スタンスの強化を継続した結果、予想を大きく上回り推移しております。以上の結果、2024年2月5日に2024年3月期通期における業績予想の修正を発表しており、営業利益を含む各利益において過去最高の更新を見込んでおります。

当社グループは、2022年5月13日に2025年3月期を最終年度とする中期経営計画を公表いたしました。当該中期経営計画において、2022年3月期に増収の一方で減益となった既存事業の収益立て直しへの注力、また事業の更なる拡大を見据えた成長基盤の整備、並びに新たな収益の柱を構築するべく既存事業関連及び新規事業の両分野におけるM&Aやアライアンスを積極的に模索するという、3つの成長戦略の方向性を掲げており、進行期である2024年3月期では過去最高益を更新し、2025年3月期において更なる成長を目指してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,143	50,166
受取手形及び売掛金	19,983	20,894
商品及び製品	17,920	24,527
仕掛品	241	286
原材料及び貯蔵品	7,899	11,528
その他	2,422	4,816
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	89,598	112,205
固定資産		
有形固定資産	7,449	8,538
無形固定資産		
のれん	314	294
その他	892	1,100
無形固定資産合計	1,206	1,395
投資その他の資産		
その他	3,994	3,936
貸倒引当金	△53	△51
投資その他の資産合計	3,941	3,884
固定資産合計	12,597	13,817
資産合計	102,195	126,023
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,548	13,059
短期借入金	7,114	14,502
未払法人税等	889	1,200
契約負債	3,298	2,937
製品保証引当金	1,265	1,337
その他の引当金	403	217
その他	6,660	6,086
流動負債合計	29,180	39,341
固定負債		
長期借入金	2,974	6,178
退職給付に係る負債	311	328
役員株式給付引当金	35	35
その他	1,392	1,467
固定負債合計	4,713	8,009
負債合計	33,894	47,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,868	3,868
資本剰余金	9,484	9,484
利益剰余金	52,001	58,374
自己株式	△830	△830
株主資本合計	64,524	70,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	20
為替換算調整勘定	2,572	6,426
退職給付に係る調整累計額	23	19
その他の包括利益累計額合計	2,696	6,466
非支配株主持分	1,079	1,308
純資産合計	68,301	78,672
負債純資産合計	102,195	126,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	141,626	134,740
売上原価	110,681	100,656
売上総利益	30,945	34,084
販売費及び一般管理費	20,367	21,002
営業利益	10,578	13,081
営業外収益		
受取利息	62	403
負ののれん償却額	13	13
受取手数料	21	32
投資有価証券評価益	304	-
その他	40	59
営業外収益合計	442	507
営業外費用		
支払利息	57	183
為替差損	525	96
支払手数料	24	20
投資有価証券評価損	-	25
その他	9	13
営業外費用合計	615	339
経常利益	10,404	13,249
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	-	164
特別利益合計	2	168
特別損失		
固定資産除却損	7	0
賃貸借契約解約損	1	8
事務所撤退費用	-	14
その他	1	2
特別損失合計	9	25
税金等調整前四半期純利益	10,396	13,393
法人税、住民税及び事業税	2,493	3,471
法人税等調整額	516	181
法人税等合計	3,009	3,652
四半期純利益	7,387	9,740
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	107
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,285	9,632

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,387	9,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	△80
為替換算調整勘定	2,530	3,977
退職給付に係る調整額	△1	△4
その他の包括利益合計	2,641	3,892
四半期包括利益	10,029	13,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,797	13,402
非支配株主に係る四半期包括利益	231	230

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	138,086	3,540	141,626	—	141,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	14	△14	—
計	138,100	3,540	141,641	△14	141,626
セグメント利益	10,592	164	10,756	△178	10,578

(注) 1. セグメント利益の調整額△178百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△706百万円、セグメント間取引消去等528百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテイ ンメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	130,499	4,240	134,740	—	134,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	—	20	△20	—
計	130,520	4,240	134,760	△20	134,740
セグメント利益	12,808	461	13,269	△188	13,081

(注) 1. セグメント利益の調整額△188百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△734百万円、セグメント間取引消去等545百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。